

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



2016-2017年度 RI会長
ジョン F. ジャーム 氏

例会予定 8月3日 ツウンバ派遣学生挨拶 他
8月10日 ガバナー研究会報告 他

VOL. 54 No. 4(通算No. 2486)

2016年 7月27日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
研究会報告

2016-2017年度 会 長 齋 藤 広 巳 幹 事 北 村 英 明

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



認証状

- (1) 創立記念日 1963年9月25日
(常陽銀行 水海道支店)
- (2) RI加盟承認 1964年1月28日
- (3) チャーターナイト 1964年5月17日
(県立水海道一高)
- (4) チャーターメンバー34名
(内現在会員数1名)
- (5) 創立当時のガバナー 小野 康平 氏
- (6) スポンサークラブ 土浦ロータリークラブ
- (7) 特別代表 細野 勝久 氏
- (8) 所在地域 常 総 市



本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎2016-17 年度事業計画発表

幹事報告 北村英明幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会長挨拶 齋藤広巳会長



先日、クラブ事務所にあった2010年4月のロータリーの友を見ていて、卓話の泉のページに「エコカーいろいろ」という題で百五経済研究所の雲井社長のお話がありましたのでご紹介させていただきます。

「エコカーいろいろ」

車に求められるものも時代とともに変わり、スピードや格好良さから安全・快適さ、環境負荷(低燃費)、経済性といった実用性に変化しました。ある意味、車としての魅力が希薄になり、単なる移動手段となっているようです。

最近、さまざまな次世代エコカーが登場しています。すっかりお馴染みとなったハイブリッド車とは異なる二つ以上の動力源・エネルギー性を持つ車のことです。エンジン効率の悪い部分をモーターが手助けし、燃費を稼ぎます。プラグインハイブリッド車はハイブリッド車の電池を大きくし、家庭などのプラグから充電した電池により走り、近所は電池で、電池切れになったらエンジンで走るという車です。ただし電池を大きくしたら高価格になるのが難点。クリーンディーゼル車はメルセデスベンツ社が得意分野で、大きなベンツを黒煙・臭いを出さずに低燃費で高速走行させます。

話題の電気自動車は、エンジンを積まずにモーターだけで走行させようというもの。電池切れになったらJAFにお願いという潔い？車です。

燃料自動車は充電の必要がなく、ガソリンを入れるように水素を充填すればどこまでも走るので、これがガソリン車並みの価格で販売されればエンジン自動車に取って代わる可能性が大。しかし、一億円を超えるとされるコストの壁を破るのはまだ難しそうです。以下省略

ところがこの燃料電池車は2013年秋の東京モーターショーで発表され、このニュースが世界中を駆け巡りました。燃料電池車はダイムラー・ゼネラルモーターズ・フォードといった世界の巨人たちがかつて2010年までに市販するという目標を掲げ、躍起になって研究開発したにもかかわらず、まだ実現していない。それなのに、急にトヨタが市販すると名乗りをあげたことに対し、にわかには信じがたいという声はほとんどでした。

しかしその予告はトヨタが自ら設けた期限を待たず、2014年12月15日に発表となりました。その価格も一億円ではなく723万円、コストの壁を超えるのはまた難しいといわれたわずか4年後の事です。技術の進歩の速さ・トヨタの技術の高さに驚きました。

2016-2017年度 事業計画

親睦活動委員会 石井康弘委員長



事業計画

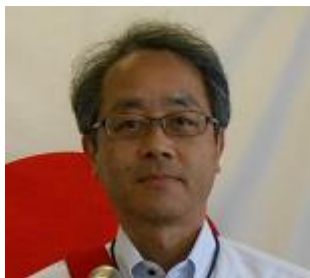
・従来委員会行事(納涼会・忘年会・新年会・観劇会・親睦ゴルフ)を、出来る限り工夫をこらし皆様楽しんで頂ける活動に努めます。

・会員並びに奥様のお誕生日プレゼントを、会場内で贈呈します。

・今年度は「遠出」する行事ではなく、食事や内容を重視し、「近場に呼ぶ」というコンセプトで進行します。

一年間、宜しくお願ひします。

SAA委員会 青木英男委員長



本年度も、例会を、秩序正しく厳正に行なうことをまず第一に実行したいと思
います。また、クラブ奉仕活動資金確保のために、目標額達成を目指します。
会員の皆様の、積極的な、ニコニコボックス賛同をお願いします。皆様には、
時期折々の、近況報告や、皆さんを和ませる話題を沢山お待ちしております。
本年度は、委員の全員が欠席することのないよう、事前に十分連絡を取り合
い、例会がスムーズに執り行えるよう準備したいと思います。

また、食事中のBGMにも、本年度は、若干の工夫をしてみたいと思います。

さらに、快適な環境造りの為に、照明や空気の状態にも気を配りたいと考えています。

実り多い例会運営が出来ますよう、会場準備のための、会員の皆様の、積極的な御協力、宜しく願い致し
ます。

会報委員会 白井 豊委員



事業計画

会報委員会は、副委員長の福田会員と委員の白井会員と委員長の亀崎徳彦の
3名でこの1年間を進めて参ります。当委員会の今年度事業計画について ご
報告申し上げます。

- 1.週報の発刊にあたり 例会記録保存と会員の皆様に正確に情報発信を行い、
会員相互の調整を図り他クラブへ情報交換に努めて参ります・
- 2.各委員会と連携を密にし、活動状況の報告で次回の例会プログラムを予知し
出席率を高められる様協力して参ります。

3.紙面の校正については、皆様から関心を頂ける様 例会風景の写真など相違工夫を図り 掲載して参りま
す。

4.会員とクラブを繋ぐ唯一の情報手段としての役割を果たして参ります。

以上の事を念頭にし、1年間運営させて頂きます。

雑誌委員会 山牟田 博委員長



「ロータリーの友」は、機関誌としてRIの公式行事や指定された記事、ロータリー
月間に関する記事、国内のロータリー情報や会員相互の意見交換など、国内
外のロータリー情報が掲載され、ロータリアンの情報発信の場となっております
が、実際にはあまり読まれることなく終わってしまうので現状です。今期会長の
方針に基づき、委員会としては、会員の皆様に雑誌の内容を一部紹介し、「ロ
ータリーの友」が愛読される一助としたいと思います。また、ロータリークラブの
広報の一環として、学校、公共施設等へ配布し、地域の方々のロータリークラブ
を理解して頂けるように努めたいと思います。

職業奉仕委員会 古矢 満委員長



会長のワンポイントメッセージの「自己の職業奉仕とあらゆる有用な職業に対
する価値と認識を見出そう」のもと、ロータリークラブの活動を通じて色々な職
業に携わる中、お互いに奉仕の理想を生かしつつ実践できるような事業を行
っていきます。

1. SAAの協力を頂き第2例会時に「四つのテスト」の斉唱を行う
2. 職場見学会の実施
3. 職業奉仕月間に卓話を実施(1月)

社会奉仕委員会 秋田政夫委員長



今年度の主な活動は、昨年の関東・東北豪雨によって甚大な被害を受けた常総市の復興事業の中から、「水害に学ぶ」をテーマにその歴史教育事業を採択し、市と共同の上活動をしていきたいと考えています。

そして、この事業にも多額の活動費を要することから地区補助金を活用し、またクラブ内においても地域プロジェクト事業とし、実行委員会を組織して、全会員参加型で対応したいと考えています。

今回の水害が単なる復興、復旧で終わることなく次世代のために大切な教訓として、あるいはこの事業が未来にむけて安心安全なまちづくりの一助となり、市内外に発信することができるよう努めたいと思っています。

次に、平成15年～16年度に始めた高齢者による常総市、つくばみらい市、両市のグランドゴルフ大会協賛事業の関わり方を見直したいと考えています。

すでに12年間の継続事業となっていますが、「ロータリーの公共性」における目的は達成されたようにも思います。

その他の社会奉仕事業につきましては、年度の中で状況判断し、可能な限り実施していきたいと思っています。

国際奉仕委員会 荒井孝典委員長



2020 年度からは外国語教育の小学校3年生からの必修化、小学校5年生からの教務化が予定されているとのことです。当委員会では、こうした外国語教育が早期に必要とされている国際化の流れを受けて、今年度もオーストラリアのツウンバRCとの交換学生の事業を中心に活動し、国際交流、親善を図っていきたいと考えております。前年度は水害のため、ツウンバRCからの交換学生の受け入れができませんでしたが、今年度は1月の受け入れも再び行っていく予定です。

従いまして、具体的な活動内容としては、

1. 今年8月中の約1週間、ツウンバRCへ交換学生の派遣
 2. 来年1月中の約1週間、ツウンバRCからの交換学生の受入
 3. 2820 地区国際奉仕委員会で行われる海外奉仕プロジェクトへの参加・協力
- 以上を考えております。

1年間よろしくお願ひ致します。

青少年奉仕委員会 登坂 寛委員長



当委員会は、以下のような活動を通して、次世代を担う青少年の健全育成のため活動していきたいと思ひます。

1. 社会奉仕委員会と共同で常総市復興計画事業の一環として「水害から学ぶ」歴史教育事業への参加、協力をいたします。
2. ライラセミナーへの参加推進
3. ガールスカウトへの助成
4. 50周年記念事業として埋設したタイムカプセルについて、忘れずに次年度に引き継ぎたいと思ひます。

ロータリー財団 細野真哉副委員長



皆様からの温かいご寄付に支えられ、ロータリーはこれまで世界中の人びとの生活を向上させる活動を行ってきました。ロータリー財団へのご寄付はこれからも平和の推進、教育の支援、疾病の予防と治療、地元経済の成長、水と衛生施設の提供といった活動に役立てられます。

ロータリーの現在の活動を支援する年次基金はシェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて、3年後にクラブの奉仕活動や人道的プロジェクトなどの活動を支える補助金に生まれ変わります。これらを念頭に置き、財団の目的等を会員の皆様にご理解、ご協力を頂くため次のような計画を立てました。

1. ロータリー財団の理解を深めていたため、ロータリー月間には月間に因んだ卓話の実施
2. 寄付数値目標、1人当たり150ドル（内訳として年次寄付130ドル、ポリオへの寄付20ドル）
3. 恒久基金（ベネファクター）1000ドル1名以上
4. ワンコインボックスを継続事業としてSAAと連携実施し、その資金を奉仕活動に活用する
5. 各奉仕委員会と連携し、地区補助金を活用した事業を実施するための検討をしていきたい

米山記念奨学会 染谷秀雄委員長



米山記念奨学会は、勉学または研究のために来日している外国人留学生に対して奨学金を支給し、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的としています。

当クラブにおきましても昨年に引き続き、武藤会員をカウンセラーとして、アミン・タンジラさんを支援していきます。また、アミン・タンジラさんには例会での卓話をお願いすると共に納涼会や観劇会などのクラブ行事に参加して頂き、会員の皆様と交流を深めて頂き、そして、地区行事にも参加をして頂き、ローターアクトやインターアクトなどの日本の青少年とも交流を深めて頂ければと考えま

す。

1. 米山奨学生アミン・タンジラさんに例会での卓話をお願いする。
2. ライラセミナーなどの地区行事に米山奨学生として参加をして頂き、日本の青少年との交流を深めて頂くようお願いする。
3. 本年度も普通寄付5,000円のほか、一人当たり20,000円以上の特別寄付を全会員をお願いする。

プログラム委員会 瀬戸隆海委員長

ロータリーの活動の基本は、充実した例会内容において、それぞれの職業や専門家の情報を得るものであります。そのためには、魅力のある内容の例会の立案に他ならないものであります。



RIの定める月間や週間に基づき例会の内容を吟味し、尚且つ地域の専門家やクラブ会員の情報を、提供して生きたいと考えるものであります。

是非とも、卓話の依頼を受けた方は協力的に受けていただき、また持っている皆様方の情報を提供していただきますよう、お願い申し上げます。

出席報告 海老原良夫委員

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
53名	40名	13名	0名	0名	75. 47%

ニコニコボックス 青木英男委員長

入金計 ¥14,000 累計 ¥228,000

お暑うございます。皆様、熱中症に気を付けてください。ニコニコよろしく。 斎藤会員
梅雨明け間近ですが、猛暑が続きます。皆様、御自愛下さいませ。 北村(英)会員
暑い日が続きますが、体調に気を付けてください。 染谷(秀)会員
武藤委員長、カレーで暑気払いできそうです！！ 石塚(克)会員
カレーはいかがでしたか？来週はカレーではありません。 武藤会員
日々猛暑が続きます。また地震も続いております。皆様、どうかご安全に！！ 石井会員
地震が多発しております。お気を付け下さい。 田上会員
今朝も地震がありました。震災に備えましょう！ 大澤会員
先週例会欠席しました。 松崎会員

会報委員会 亀崎徳彦委員長 福田克比古副委員長 白井 豊委員

